

# 犬の皮膚病とは？

## 症状・原因・治療および対策方法を徹底解説

犬の病気で、よく見られる症状のひとつに皮膚病があります。今回は、犬の皮膚病とは何か、症状・原因・治療および対策方法などを紹介してまいります。



### 犬の皮膚病の主な症状とは

犬の皮膚病には、様々な種類がありますが、共通する主な症状としては「かゆみがひどい」「引っ掻き症状が出る」「皮膚をしきりに噛む」「脱毛がみられる」「皮膚に赤みが生じている」などが挙げられます。

### 犬の皮膚病の主な種類とは

#### ・寄生虫による皮膚病

犬の寄生虫による皮膚病は、ノミや各種ダニ(マダニ・ヒゼンダニなど)、シラミなどに寄生されることで発症します。特に、ヒゼンダニが原因で起こる疥癬(かいせん)と呼ばれる皮膚病は、激しいかゆみを引き起こすため、早期に治療が必要です。

#### ・アレルギー性の皮膚病

犬の皮膚病で多いのが、アトピー性皮膚炎であるとされています。生後6ヶ月～3歳くらいにかけて症状が見られ、遺伝、環境、犬種など、様々な原因が考えられます。その他、キャットフードに含まれる鶏肉・牛肉などが原因となる食物アレルギーも多く見られる症状です。

#### ・細菌性の皮膚病

犬の細菌性の皮膚病として、よく見られるのが膿皮症(のうひしょう)です。膿皮症の原因となる細菌は、在常菌として存在しており、健康な状態であれば発症には至りませんが、皮膚のバリア機能に異常が出ると皮膚病になります。その他、内分泌疾患、アレルギー疾患などが原因で皮膚のバリア機能が低下する場合もあります。

#### ・真菌性の皮膚病

犬の真菌性の皮膚病は、酵母(マセラチア)感染、皮膚糸状菌症などが代表的です。皮膚の被毛にカビが感染し、皮膚のバリア機能が低下すると、皮膚糸状菌症が発症しやすくなります。

#### ・心因性の皮膚病

犬の心因性の皮膚病は、ストレスによって発症するものです。運動不足、住居環境によるストレス、飼い主との不仲、多頭飼いや他の種類のペットとの相性の悪さなどが起因し、心因性の皮膚病につながる場合があるため、日頃からケアをしてあげることが大切となります。

### 犬の内部寄生虫

#### ・ノミ、ダニなどの寄生虫による発症

犬の皮膚病の原因は、前述の通り、ノミやダニなどの寄生虫が挙げられます。真冬の室内でなければ、ほぼ年中生息する可能性がありますので、定期的なノミダニ対策が必要です。

#### ・ストレスによる発症

犬はストレスが溜まると、体を必要以上に舐める習性があります。この時、体の一部が赤みを帯びていたり、足先が常によだれで濡れていたりする場合は、ストレスを起因とした皮膚病を発症している可能性が高いです。

#### ・栄養バランスの崩れによる発症

栄養バランスが崩れると、犬の皮膚のバリア機能が低下しやすくなります。ビタミンA、ビタミンB群、ビオチン、消化しやすいタンパク質、微量ミネラル、亜鉛、ビオチン、ヒスチジン、オメガ3系およびオメガ6系不飽和脂肪酸などを、食事にとり入れることが重要です。

### ・体温調節による発症

犬は優れた体温調節機能を持っています。しかし、夏場などには体温が高まり、蒸れることで皮膚病の原因となる場合があります。室内飼いの場合はエアコンを有効活用してあげましょう。

### ・乾燥による発症

犬の皮膚は乾燥に弱く、長時間乾燥すると皮膚のバリア機能が低下してしまい、皮膚病の原因となります。ヒアルロン酸またはセラミドを含む保湿ができるシャンプーを使用するなどして、皮膚の水分を保つ乾燥対策を万全にしてあげることが大切です。

## 犬の皮膚病の治療および対策方法

### ・経過観察をしっかりと行う

犬の皮膚病の治療を行う場合は、動物病院に連れていく必要がありますので、経過を飼い主がしっかりと観察しておくことが重要です。

### ・原因を特定するためにアレルギー検査や血液検査を行う

動物病院では、問診の補助的な役割として、アレルギー検査や血液検査を行い、さらに犬の病状の原因が何なのかを詳しく診察していきます。

血液検査は、内臓系の疾患が影響して皮膚病になっている可能性がある場合に実施します。

### ・犬の皮膚病の原因に応じた治療を実施する

検査が完了して原因が特定できた際には、それぞれの原因に応じた、犬の皮膚病の治療を実施します。

犬が皮膚病で苦しんでいる場合には、  
早めに動物病院で獣医師の診断を受けましょう

今回は、犬の皮膚病とは何か、症状・原因・治療および対策方法などを紹介してまいりました。

動物病院に行けば、それぞれの皮膚病の原因・症例に合った治療を、適切な形で獣医師から受けることができます。また、その他の疾患についても検査してもらうことができるため、何か心配なことがあれば、かかりつけの動物病院に相談する習慣をつけておきましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

